

平成 26 年度 新学術領域研究（研究領域提案型）審査結果の所見

研究領域名	ステムセルエイジングから解明する疾患原理
領域代表者	岩間 厚志（千葉大学・大学院医学研究院・教授）
研究期間	平成 26 年度～平成 30 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域では、幹細胞あるいは幹細胞ニッチの加齢による生理的・病的な変化を「ステムセルエイジング」と定義して、「加齢に伴う疾患は様々な臓器幹細胞における多様な抗老化システムの破綻によって起こる」との仮説のもとで老化の本質の解明と加齢関連疾患の克服を目指すものである。幹細胞とニッチという視点から老化研究を見直し、幹細胞老化の理解を通して老化を捉え直すという研究領域形成の意義は十分認められる。近年、iPS 細胞を用いた研究は強化されたが、その応用に必須となる組織幹細胞や幹細胞エイジングの研究の強化はなされておらず、この意味からも本研究領域の緊急性は高く重要である。</p> <p>計画研究代表者は、優れた業績を有する若手－中堅－シニアの研究者が含まれており、がん、毛髪、循環器、老化マウスなど、様々な研究対象を網羅する重厚な組織作りであり、研究成果が期待できる。</p> <p>社会的発展の可能性としては、本研究領域で得られる成果によって生理的な老化と加齢関連疾患の統合的理解に繋がり、高齢化社会を迎える我が国の医療に重要な知見を与えることが期待される。</p>